

IHクッキングヒーター専用 室内循環フード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意.....	2～3
取り付け上のごお願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5～7
各部のなまえ.....	8
製品寸法図.....	8
付属品.....	9
取り付けかた.....	10～27
1. 付属品の確認.....	10
2. 排気用部品の準備.....	11
3. 本体の準備.....	12～15
4. 本体の取り付け.....	16～17
5. フードの取り付け.....	18
6. 循環フレーム本体の取り付け.....	19
7. ダクトと排気用部品の接続.....	20
8. 電気配線.....	21
9. 動作・風漏確認.....	21
10. 循環幕板本体・後ふた・横ふたの取り付け.....	22
11. 各フィルターの取り付け.....	23～25
12. 前ふたの取り付け.....	25
13. 誘導カートリッジ・整流板の取り付け.....	26
14. 試運転.....	27
15. お客様への説明.....	27

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 1681



* 1 J 0 3 1 6 8 1 *

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意：人が軽傷を負う可能性および物的損害*の発生が想定される内容。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



使用禁止

- IHクッキングヒーター以外には使用禁止
ガスコンロには使用できません
本製品は燃焼発生ガスを浄化できません
ので、一酸化炭素中毒の原因になります



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください
また本製品で換気を併用する場合、必ず室外排気（換気）モードにしてご使用ください
一酸化炭素中毒の原因になります



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください

安全上のご注意

警告



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

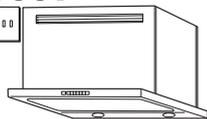
- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

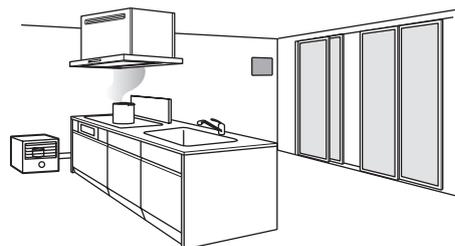
- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります

100V



取付注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

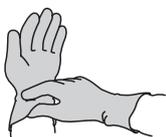


注意



手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



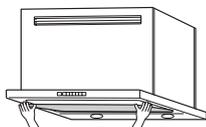
使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）
感電および故障の原因になります



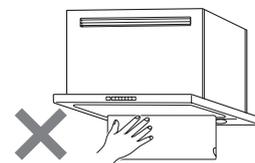
取付注意

- ファンや部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



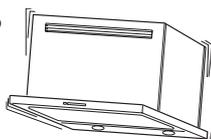
接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



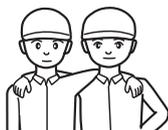
取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります



取付注意

- 作業は 2 人以上でおこなうこと
製品はおよそ 58kg の重さがあります



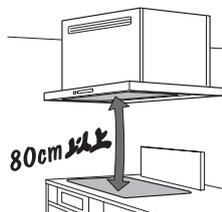
取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

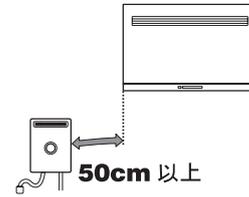
- 大工工事
(設置のための下地工事等)
- 配線工事
(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
- 管工事
(ダクト配管および室内循環フードからのダクト接続等)

流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

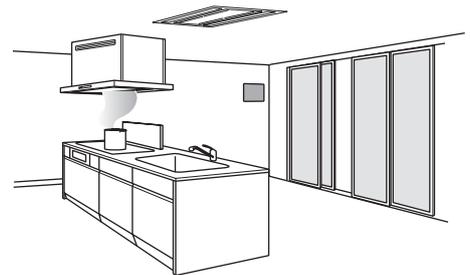
- 備え付けのIHクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用する際は、循環フードを換気モードで使用してください。また、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。
- ダクトの不燃処理について
 - ・ ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・ 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- IHクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。
IHクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 製品はIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端がIHクッキングヒーターの真上 80cm 以上になるようにしてください。



- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けてください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。
(室外排気(換気)時)



- 寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因になります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 室内循環フード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。
取付用ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります

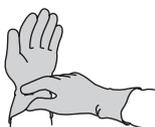
注意



手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

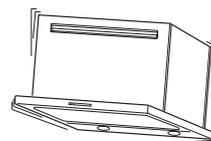
火災・故障の原因になります



取付注意

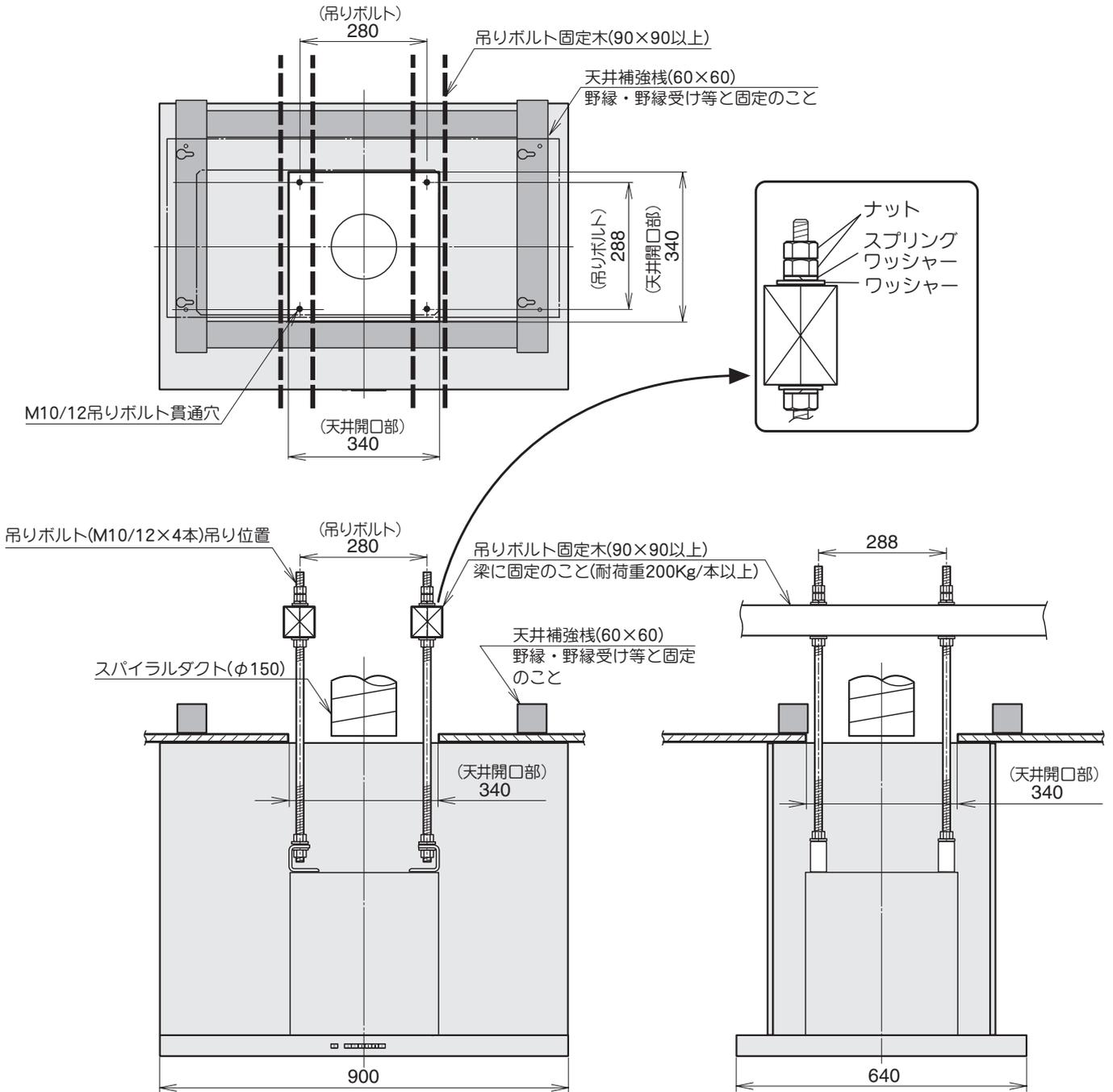
- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にすること

落下によりけがをするおそれがあります



取り付け前の調査と準備

■ 取付要領図 (単位: mm)



■ 取付箇所の強度確認

製品を支える強さが必要です。

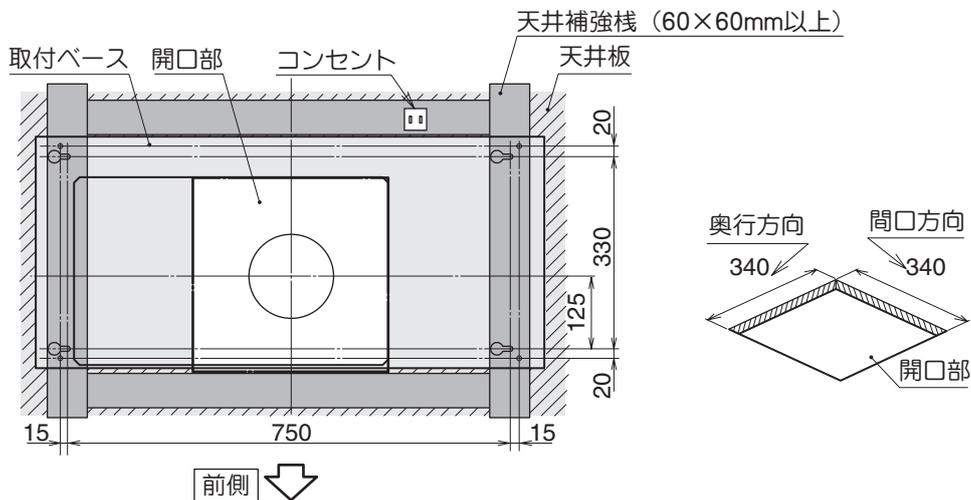
製品単体質量	58kg
--------	------

取り付け前の調査と準備

1 天井面への穴あけ

下図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ天井面へのダクト穴の開口を依頼してください。

また、天井開口部近くの補強桟または野縁等に専用コンセントを設置してください。



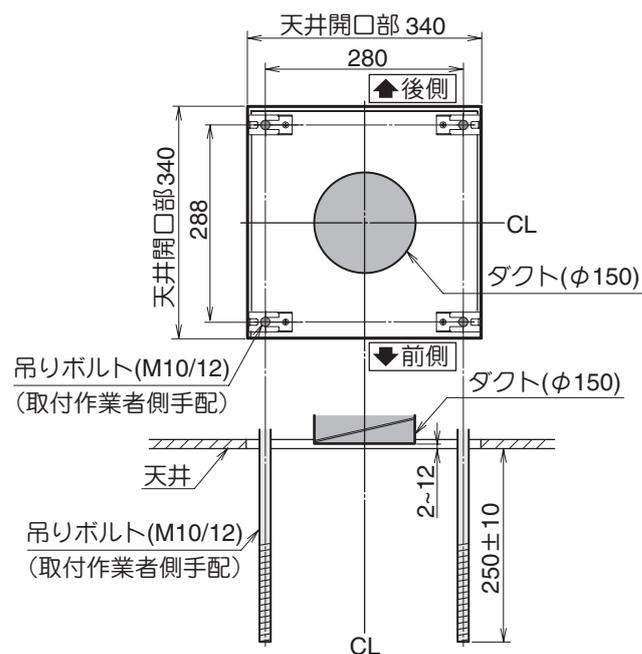
2 ダクトの設置

φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のように室内循環フードの上部に突き出すようにセットしてください。ダクトの突き出し長さは天井面より上に2～12mmです。

3 吊りボルトの設置

M10またはM12の吊りボルト（取付作業側手配）を4本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。天井面からの吊りボルトの突き出し長さは250±10mmです。固定ピッチは前後288mm、左右280mmです（製品寸法図参照）。

吊りボルトは耐荷重200kg／本となるように取り付けてください。



4 電源コンセント・ブレーカー

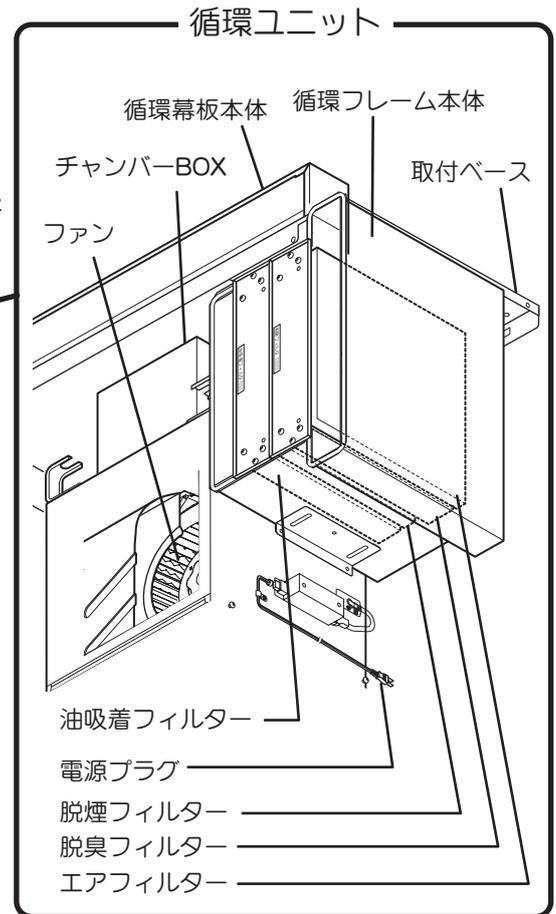
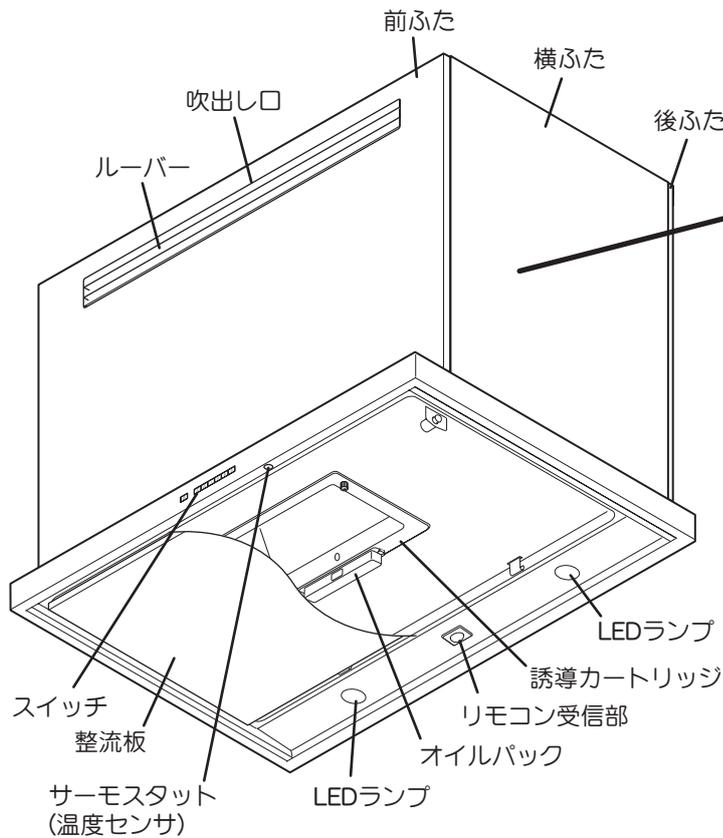
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相100V）コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

※ 設置位置は手順1の図を参照してください。

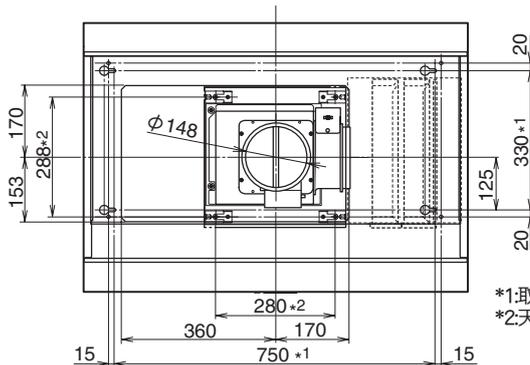
お願い

必ずアース（D種接地工事）をしてください。室内循環フードが誤作動することがあります。

各部のなまえ



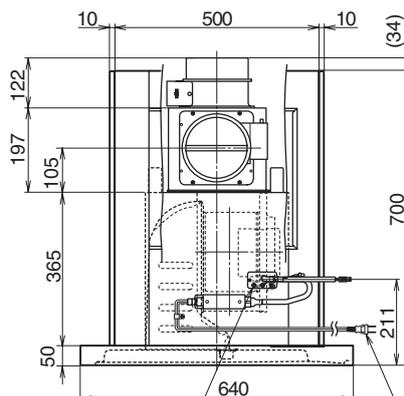
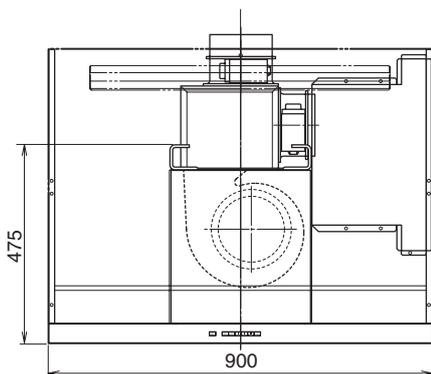
製品寸法図



アース接続端子詳細図



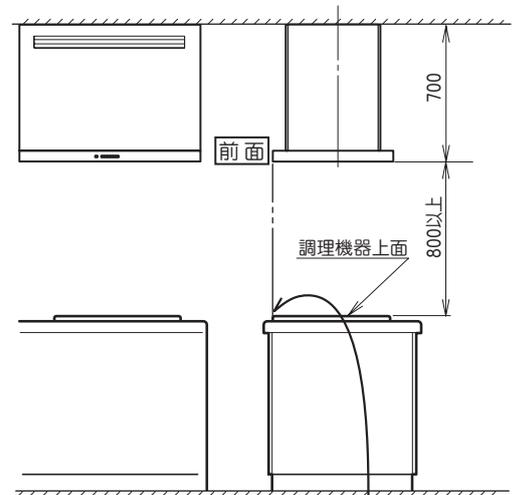
*1:取付ベース取付位置
*2:天吊りボルト取付位置



アース接続端子
※アース線は取付作業側手配

機外長: 1m

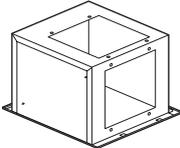
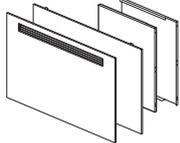
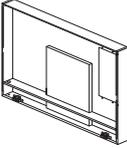
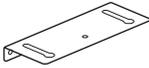
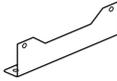
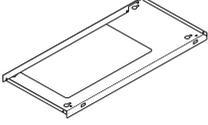
室内循環フード取付条件



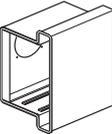
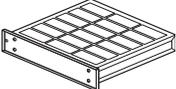
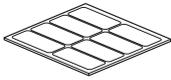
調理機器は室内循環フードの前端からはみ出さないように取り付けてください。

付属品

室内循環フード本体付属品

	座付ねじ φ 5.1 × 45 (8本)	取付ベースの固定に 使います。		チャンバー BOX (1個)	循環ユニット構成 部品です。
	ラミメイトねじ M4 × 8 (4本)	横ふたの取り付けに 使います。		前ふた 横ふた (左・右) 後ふた (各1枚)	
	ローレットねじ M4 × 10 (3本)	循環フレーム本体 の取り付けに使い ます。		循環幕板 本体 (1個)	循環フレーム本体 の取り付けに使い ます。
	ナベねじ M4 × 8 (16本)	循環幕板本体、横 ふた、およびロー ラーキャッチの取 り付けに使います。		本体固定金具 (1個)	
	トラスねじ M4 × 10 (6本)	横ふたおよび各 フィルターの取り付 けに使います。		固定金具 (1個)	
	吊り金具 (4個)	本体の取り付けに使 います。		ソフトテープ (5mm 厚, 10mm 厚) (各1本)	
	取付ベース (1枚)	本体の取り付けに使 います。	 【循環用】 【排気用】	排気口 (電動シャッター) (各1個)	チャンバー BOX と 循環フレーム本体、 および本体とダクト の接続に使います。
	ローラ ーキャ ッチ (2個)	後ふたの取り付けに 使います。			

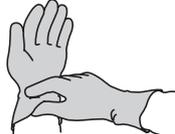
循環ユニット付属品 (別売品) 収納箱内

	循環フレーム 本体 (1個)	循環ユニット構成 部品です。		脱煙フィルター (1個)	循環ユニット構成 部品です。
	油吸着フィルター (1個)			エアフィルター (1個)	
	脱臭フィルター (1個)				

取り付けかた

1. 付属品の確認

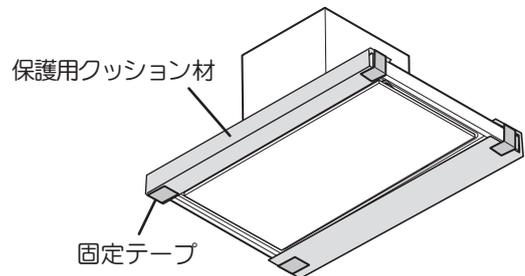
**注意**

 取扱注意	<ul style="list-style-type: none">● 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります	
 取扱注意	<ul style="list-style-type: none">● 作業は 2 人以上でおこなうこと 製品はおよそ 58kg の重さがあります	

本製品は室内循環フード本体部と循環ユニット部が別梱包になっています。
梱包箱から付属品を取り出し、付属品一覧（9 ページ）により不足がないか確認します。
別売品の循環ユニット部も同様に付属品一覧（9 ページ）により不足がないか確認します。

お願い

- ・ 保護用のクッション材と固定テープはキズ・破損防止のためはずさないでください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部を破損するおそれがあります。



取り付けかた

2. 排気用部品の準備

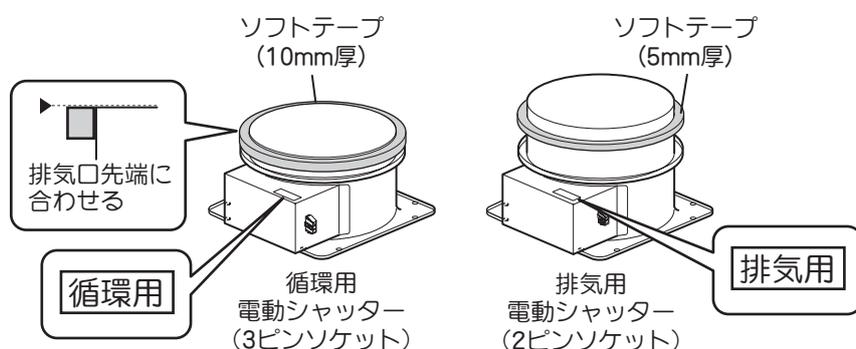
- 「1. 付属品の確認」(前ページ)で取り出した、排気用・循環用各電動シャッター、ソフトテープおよびチャンバー BOX を用意します。

1 排気用および循環用電動シャッターに付属品のソフトテープを貼り付けます。

ソフトテープは厚みの異なる2種類が付属しています。

循環用電動シャッターに10mm厚のもの、排気用電動シャッターに5mm厚のものを使用してください。

※ 各貼付位置は下図を参照してください。



2 排気用・循環用電動シャッターをチャンバー BOXに取り付けます。

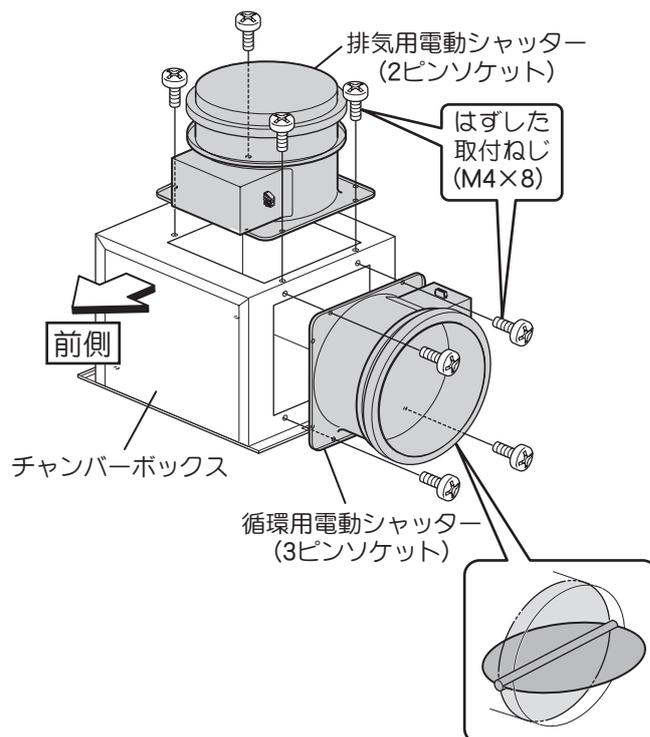
お願い

手でシャッターを開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

- 1) チャンバー BOX 上面の排気用電動シャッター取付部に付いている取付ねじ(M4×8)4本を取りはずした後、はずした取付ねじで排気用電動シャッターを取り付けます。取付方向は右図を参照してください。
- 2) チャンバー BOX 側面の循環用電動シャッター取付部に付いている取付ねじ(M4×8)4本をはずした後、はずした取付ねじで循環用電動シャッターを取り付けます。

お願い

循環用電動シャッターの取付方向に注意して取り付けてください。
間違った取り付けは油漏れの原因になります。



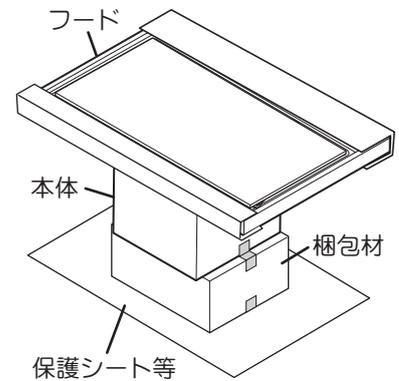
取り付けかた

3. 本体の準備

お願い

- ・床面を傷つけないよう、保護シート等を敷いた上で作業をおこなってください。
- ・フードと本体を分離するまでは本体下の梱包材を付けた状態で作業をおこなってください。

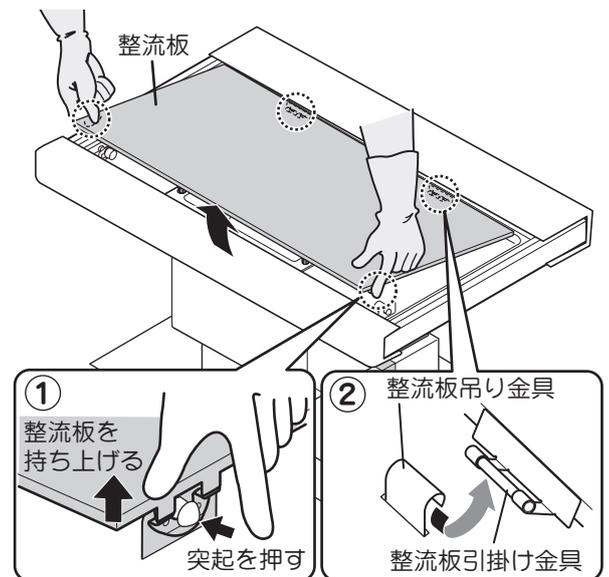
※ フードが倒れないよう、しっかりと支えて作業をおこなってください。



1 整流板をはずします。

※ 室内循環フードを図のように整流板が上になるようにシート等の上に置いて作業します。

- 1) 整流板を固定しているテープを取り除きます。
- 2) 整流板の前側を固定している左右の突起を押し込みながら前側をゆっくりと持ち上げ、ロックをはずします (①)。
- 3) 整流板を開いた状態で、整流板吊り金具から整流板引掛け金具をはずします (②)。



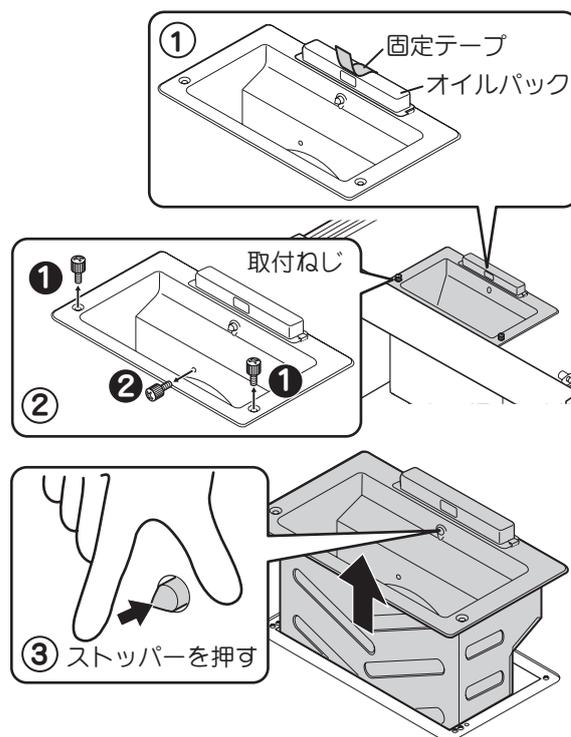
取り付けかた

2 誘導カートリッジをはずします。

- 1) オイルパックを固定しているテープを取り除きます (①)。
- 2) 取付ねじを ①、② の順番ではずします (②)。
- 3) ストッパーを押しながらゆっくりと上へ引き出します (③)。

お願い

誘導カートリッジはキズをつけないよう、ゆっくりと引き出してください。
また、オイルパックを落とさないように注意してください。

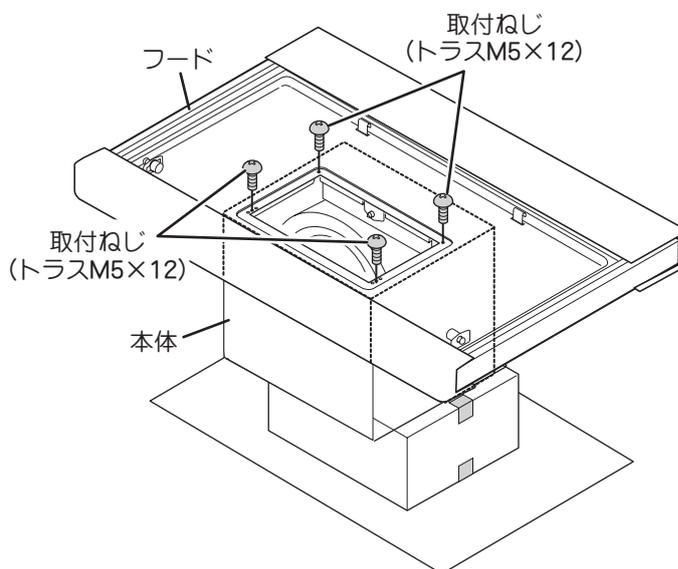


3 フードと本体を分離します。

取付ねじ (トラス M5 × 12) 4 本をはずします。

お願い

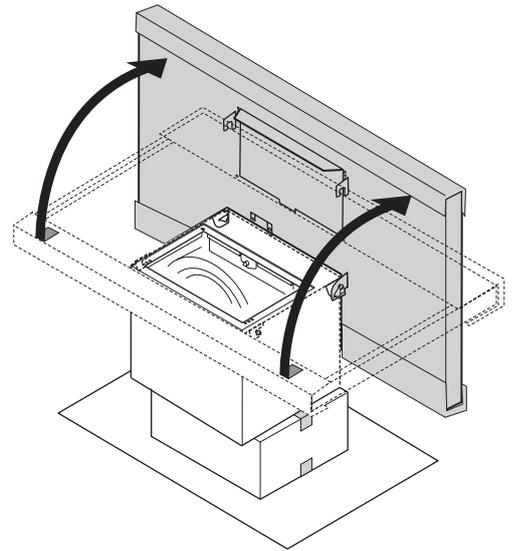
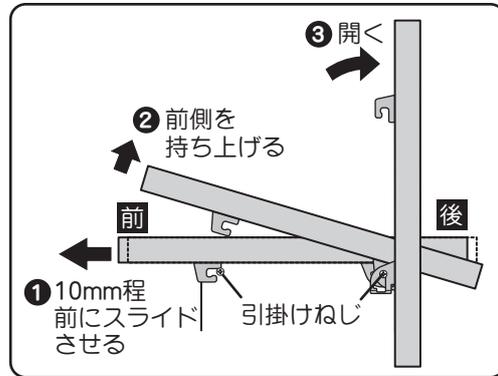
取りはずしたねじは「5. フードの取り付け」手順 1 の 4) (18 ページ) にて再度使用しますのでなくさないでください。



取り付けかた

4 フードを取りはずします。

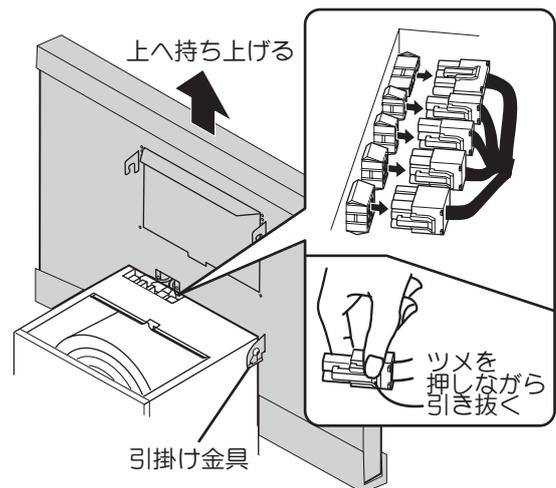
- 1) フードを前方へ 10mm 程スライドさせ、前側を持ち上げフードを開きます。



- 2) 電気配線のコネクター 5ヶ所をはずします。

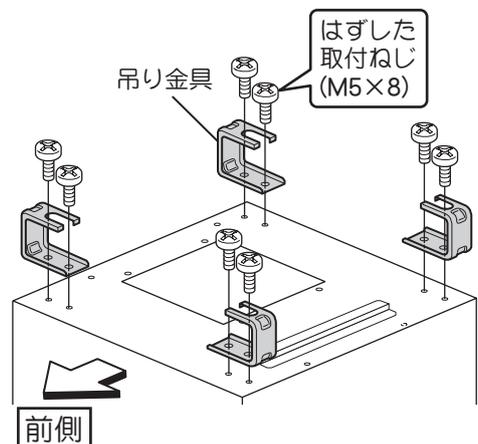
お願い

コネクターをはずす際は、ツメの部分を押しながら、まっすぐ引き抜いてください。無理に引っ張ったり、コードを持って引き抜くと断線するおそれがあります。



5 吊り金具を取り付けます。

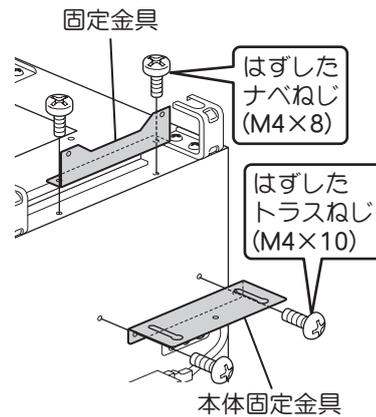
本体の各取付部に取り付いている取付ねじ (M5 × 8) 8本をはずし、付属品の吊り金具 4個を取り付けます。



取り付けかた

6 固定金具および本体固定金具を取り付けます。

本体の各取付部に取り付いているナベねじ (M4 × 8) およびトラスねじ (M4 × 10) 各 2 本をはずし、付属品の固定金具および本体固定金具を取り付けます。

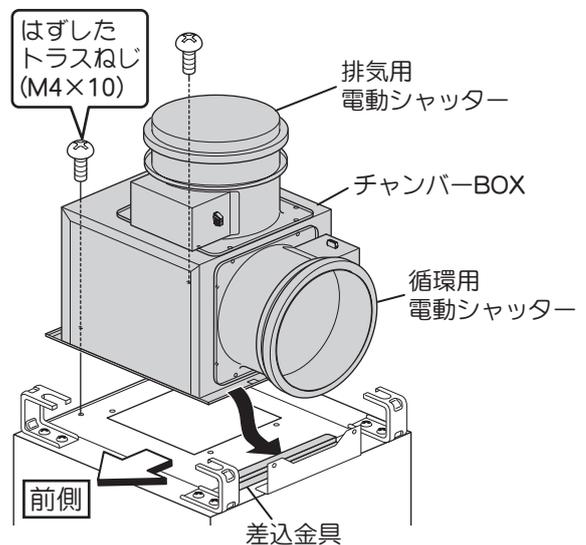


7 本体にチャンバーBOXを取り付けます。

本体の取付部に取り付いているトラスねじ (M4 × 10) 2 本をはずし、本体の差込金具にチャンバーBOXを引っ掛け、はずしたトラスねじ 2 本で固定します。

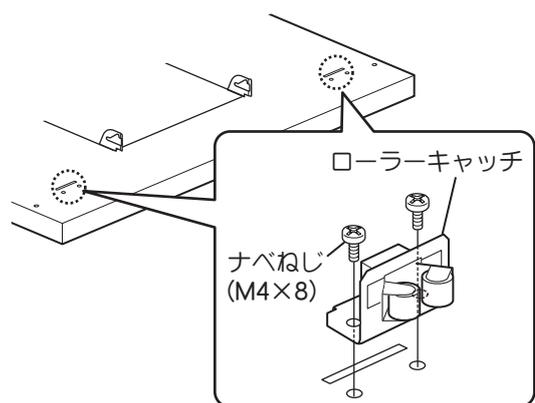
お願い

チャンバーBOXのエンボスが変形しないように固定してください。



8 フードにローラーキャッチを取り付けます。

フード後側左右 2 ヶ所に付属品のナベねじ (M4 × 8) 各 2 本でローラーキャッチ 2 個を取り付けます。



取り付けかた

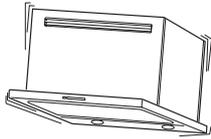
4. 本体の取り付け

⚠ 注意



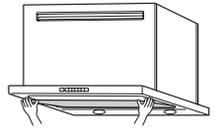
取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



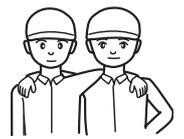
取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



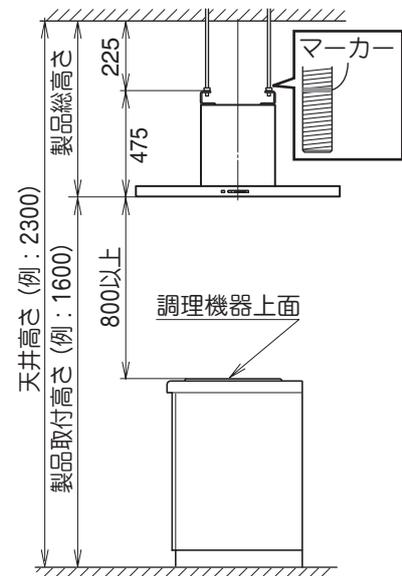
取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと
製品はおよそ 58kg の重さがあります



1 室内循環フードの固定位置を決めます。

吊りボルトにマジックペンなどで、天井から225mm の位置にマーカーをつけます。



2 天井に取付ベースを取り付けます。

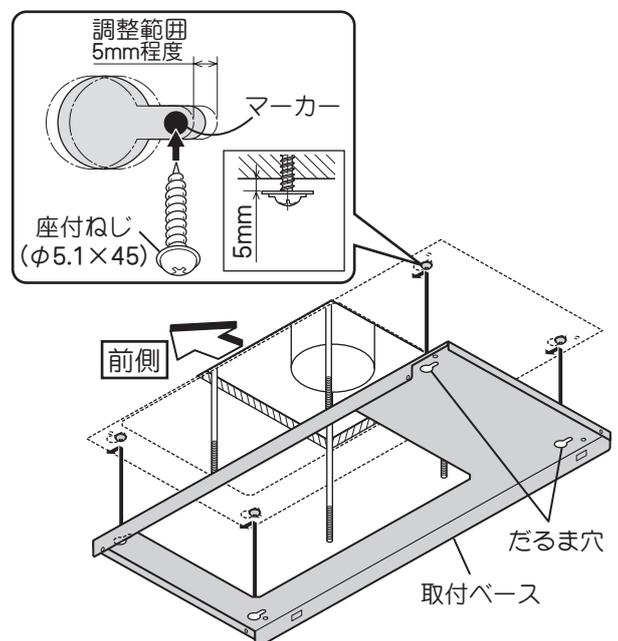
- 1) 天井の取付ベース取付位置に取付ベースを合わせ、右図の要領でねじ位置にマーカーをします (4ヶ所)。
※ あとで5mm程度の微調整ができる位置にマーカーをしてください。

- 2) マーカー位置に付属品の座付ねじ (φ 5.1 × 45) 4本を天井面とのすきま5mmまで締め付けます。

- 3) 取付ベースのだるま穴を天井面に取り付けた座付ねじに引っ掛けた後、締め付けます。

お願い

取付ベースは後の手順で取付位置の微調整をおこないますのできつく締め付けしないでください。



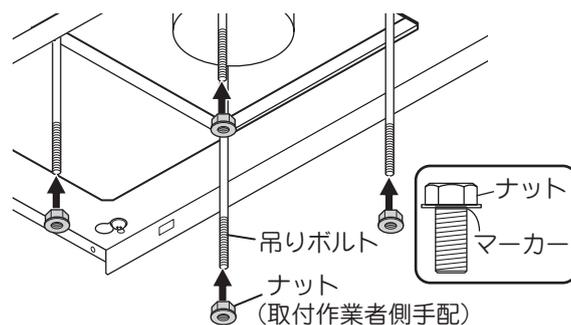
取り付けかた

3 ナットとワッシャーを吊りボルトにねじ込みます。

M10 または M12 のナットとワッシャー（取付作業側手配）を吊りボルトのマーカ位置までねじ込みます。

お願い

取付完了時、調理機器上面から本体下面まで 800mm にならない場合は調節してください。



4 本体を吊りボルトに固定します。

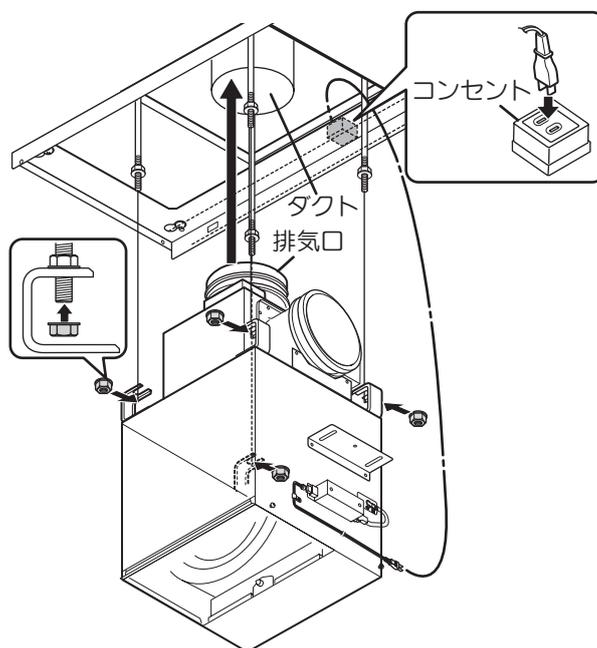
1) 本体を持ち上げて 4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側から M10 または M12 のワッシャーとナット（取付作業側手配）をしっかりと締め付けます。

お願い

ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

2) アース（D種接地工事）を取ります。

3) 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグを天井裏などに設置したコンセントに差し込みます。



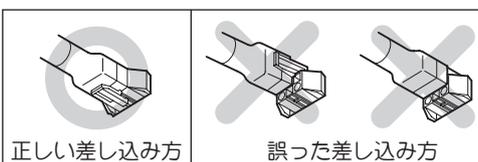
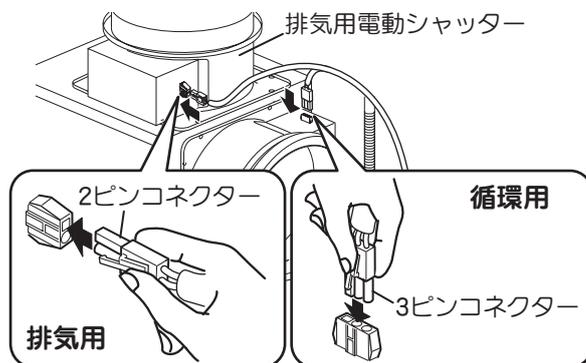
5 連動出力コネクターを接続します。

1) 排気用電動シャッターのソケット（2ピン）に本体の連動出力コネクターを接続します。

2) 循環用電動シャッターのソケット（3ピン）に本体の連動出力コネクターを接続します。

お願い

- コネクターの接続は確実にしてください。接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
- コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

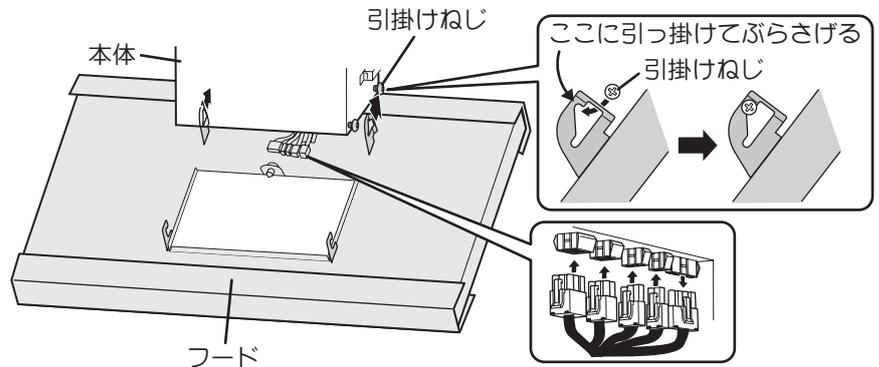


取り付けかた

5. フードの取り付け

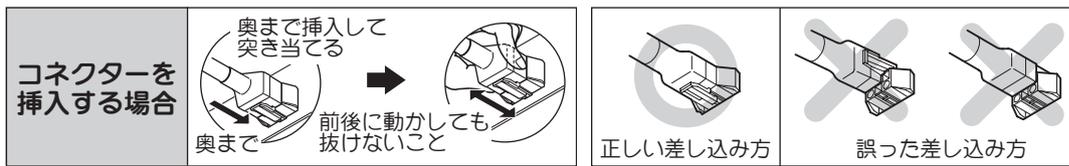
1 フードを取り付けます。

- 1) フード奥側の金具を本体の引掛けねじに引っ掛けます。
- 2) コネクター 5ヶ所を差し込みます。

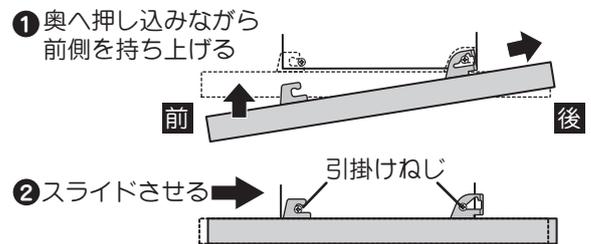


お願い

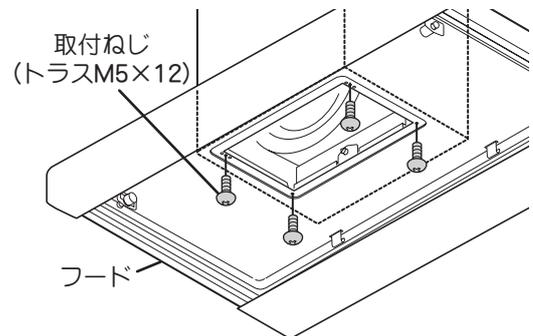
- ・コネクターの接続は確実にこなしてください。接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
- ・コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合せて確実にロックしてください。



- 3) フード前側を水平になるまで持ち上げてからフードを後方にスライドさせ、フードの金具を本体の引掛けねじ 4ヶ所に引っ掛けます。

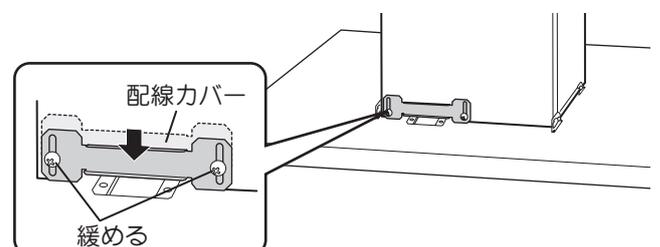


- 4) 「3. 本体の準備」手順 3 (13 ページ) にはずした取付ねじ (トラス M5 × 12) 4 本でフードの下から固定します。



2 配線カバーを取り付けます。

本体後側にある配線カバーの取付ねじ 2 本を緩め、下へスライドさせて固定します。



取り付けかた

6. 循環フレーム本体の取り付け

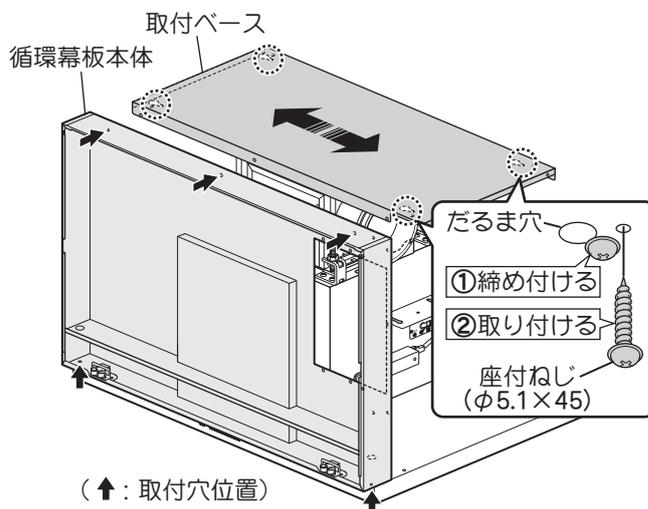
1 取付ベースを固定します。

1) 循環幕板本体をフード前側の本体部にセットし、フードと左右を合わせ、上側の取付穴と取付ベースの取付穴（各3ヶ所）、および下側の取付穴とフードの取付穴（各2ヶ所）が合うように取付ベースの位置を調整します。

※ 位置調整完了後、循環幕板本体をはずします（後作業で再度取り付けます）。

2) 「4. 本体の取り付け」手順2の2）（16ページ）にて取り付けた座付ねじ（M5.1×45）4本をしっかりと締め付けます（①）。

3) 付属品の座付ねじ（M5.1×45）4本を取り付け、取付ベースを固定します（②）。

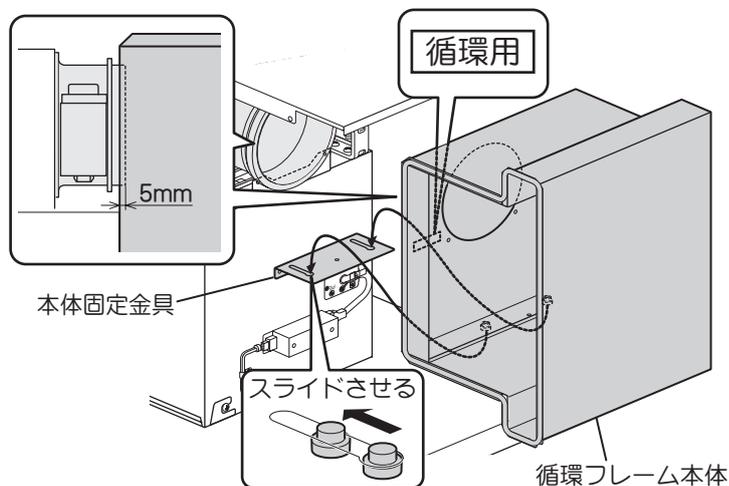


2 循環フレーム本体を取り付けます。

1) 循環フレーム本体底部の段付ねじ（2ヶ所）を本体固定金具のだるま穴に通し、循環フレーム本体の開口部を循環用電動シャッターに差し込みます。

お願い

循環フレーム本体に貼り付けてある循環用ラベルと循環用電動シャッターに貼り付けてある循環用ラベルが合っていることを確認してください。

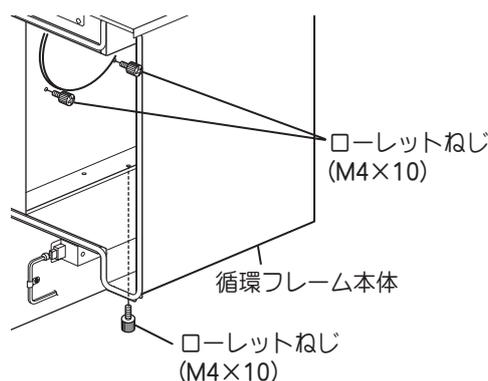


2) 付属品のローレットねじ（M4×10）2本で循環フレーム本体内側から本体に固定します。

3) 付属品のローレットねじ（M4×10）1本で循環フレーム本体底部を下から固定します。

お願い

各ローレットねじを固定後、必ず増し締めしてください。

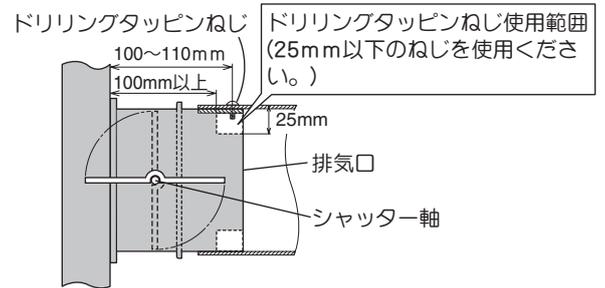


取り付けかた

7. ダクトと排気用部品の接続

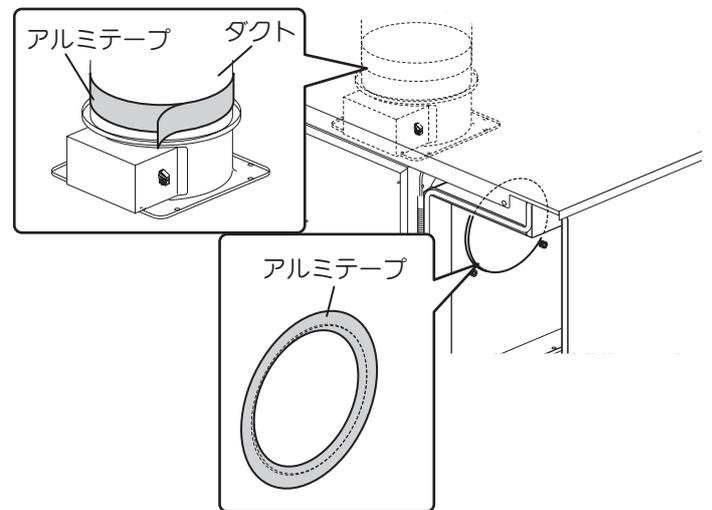
お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように、図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。



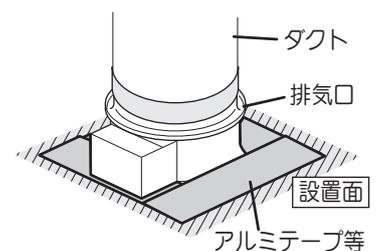
風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

- 1) ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。
- 2) 循環用電動シャッターと循環フレーム本体の接続部に、風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。



■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトに室内循環フードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面（製品天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は「9. 動作・風漏れ確認」（21ページ）にて試運転（強運転）をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



取り付けかた

8. 電気配線

警告



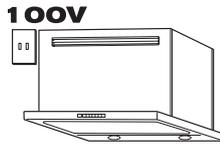
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付け

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

- 1 アース（D 種接地工事）を取ります。
（「4. 本体の取り付け」手順 4 の 2）（17 ページ）でおこなってください。
※アース線は取り付け作業側にて手配します。

- 2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。
（「4. 本体の取り付け」手順 4 の 3）（17 ページ）でおこなってください。

お願い

- ・電源は専用のコンセント（2極差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- ・コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。

9. 動作・風漏確認

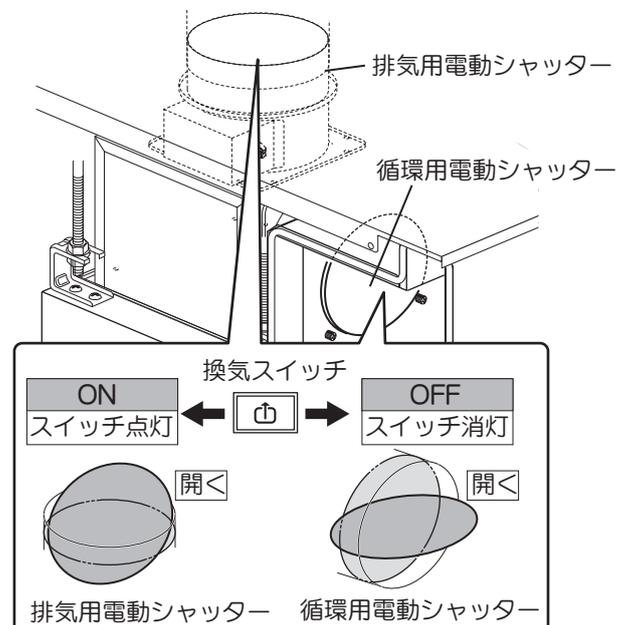
運転状態および風漏確認をおこないます。

分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して下表の事項を点検・確認してください。

お願い

確認後は分電盤のブレーカーを「切」にしてください。

点検項目	点検する内容・箇所
運転状態	換気切り替えスイッチによる電動シャッターの動きなど（右図参照）
風漏れがないか	排気口および循環フレーム本体の各接続口

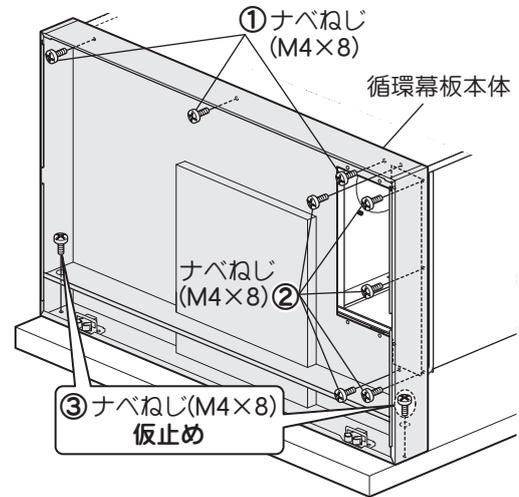


取り付けかた

10. 循環幕板本体・後ふた・横ふたの取り付け

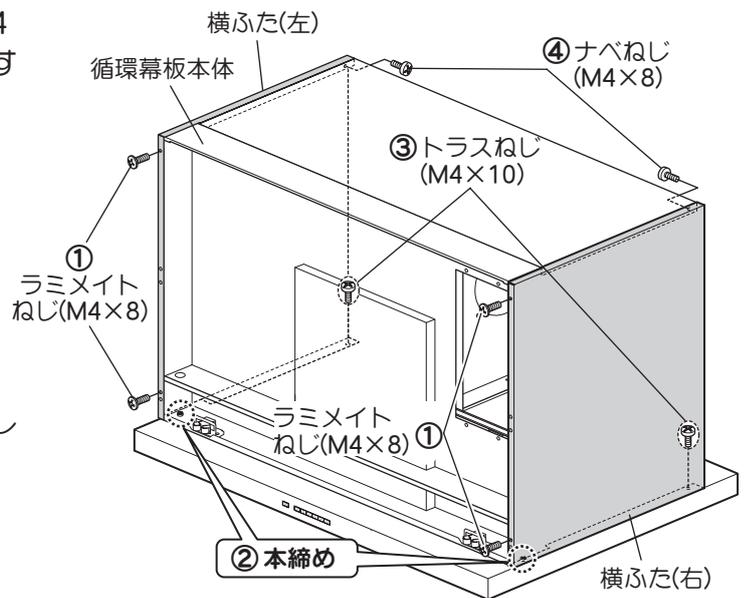
1 循環幕板本体を固定します。

- 1) 付属品のナベねじ(M4×8)3本で取付ベースに固定します(①)。
- 2) 右側5ヶ所を付属品のナベねじ(M4×8)で循環フレーム本体に固定します(②)。
- 3) 循環幕板本体の下部を付属品のナベねじ(M4×8)2本でフードに仮止めします(③)。
(横ふたを取り付けた後に本締めします。)



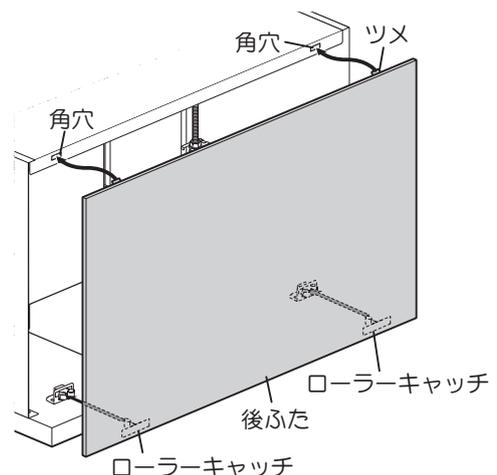
2 横ふた(左・右)を取り付けます。

- 1) 横ふたの前側をフードと循環幕板の間に差し込み、付属品のラミメイトねじ(M4×8)各2本で循環幕板本体に固定します(①)。
- 2) 手順1の3)で仮止めしたねじを本締めします(②)。
- 3) 横ふたの後側(下側)を付属品のトラスねじ(M4×10)各1本でフードに固定します(③)。
- 4) 横ふたの後側(上側)を付属品のナベねじ(M4×8)各1本で取付ベースに固定します(④)。



3 後ふたを取り付けます。

- 1) 取付ベースの角穴2ヶ所に後ふたのツメを差し込み、下側を2ヶ所のローラーキャッチで固定します。



取り付けかた

11. 各フィルター取り付け

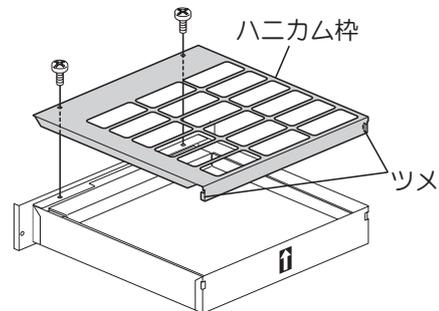
お願い

- 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。
落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部を破損するおそれがあります。
- フィルターの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなるおそれがありますので取り扱いには十分注意してください。

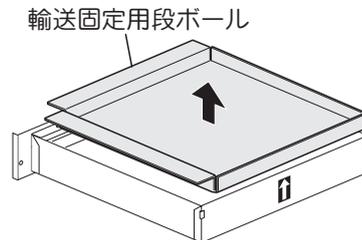
■ 脱煙フィルターの組み立て

脱煙フィルターは油吸着フィルターに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

- 1) ハニカム枠上側のねじ2本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側2ヶ所のツメをフレームからはずして取り除きます。



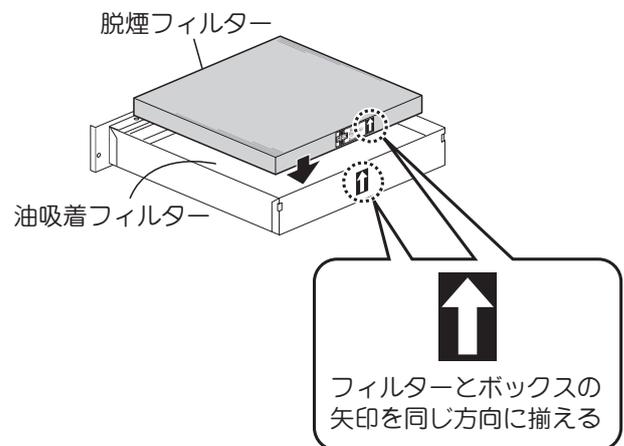
- 2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。



- 3) 脱煙フィルターを袋から取り出し、ボックス下側の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルターをセットします。

お願い

必ず脱煙フィルターとボックス下側の矢印を揃えてセットしてください。
誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因になることがあります。



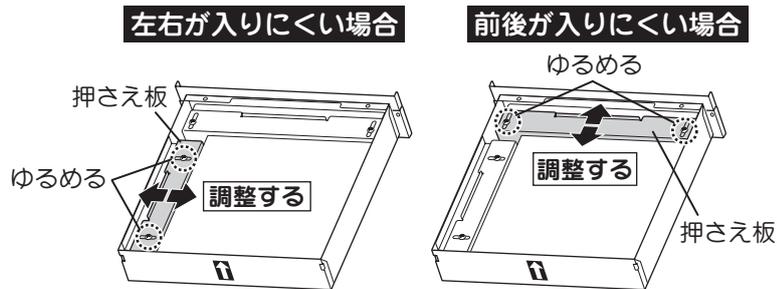
取り付けかた

■ 脱煙フィルターが入りにくい場合は

フィルターの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。

ボックスに脱煙フィルターが入りにくい場合は下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルターを挿入してください。

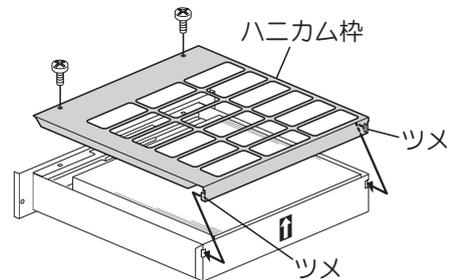
挿入後は脱煙フィルターにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。



お願い

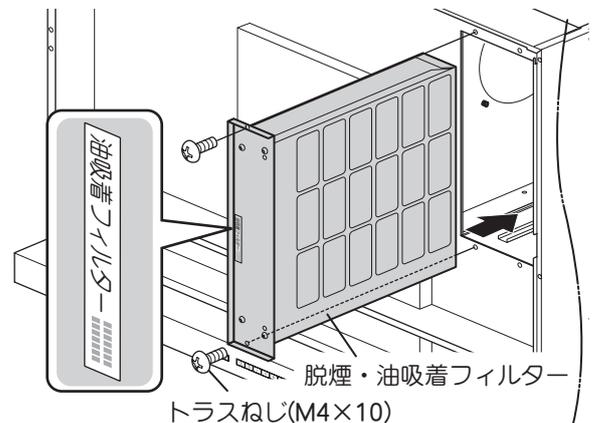
脱煙フィルターを挿入した後は、脱煙フィルターにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

- 4) ハニカム枠下側のツメをボックス下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずしたねじ2本で固定します。



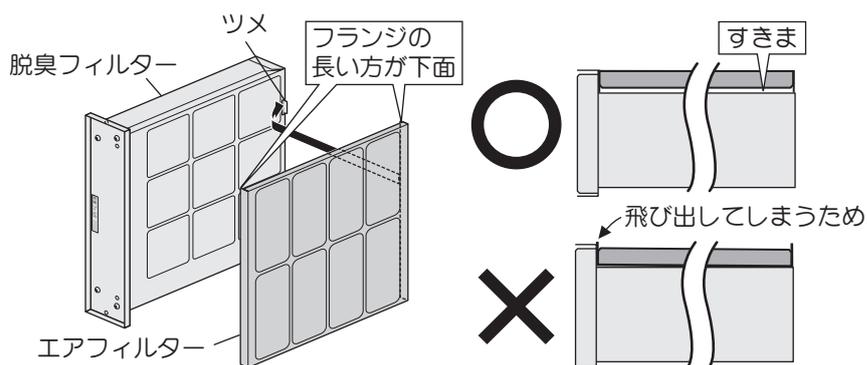
■ 各フィルターの取り付け

- 1) 脱煙・油吸着フィルターを図のように差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。

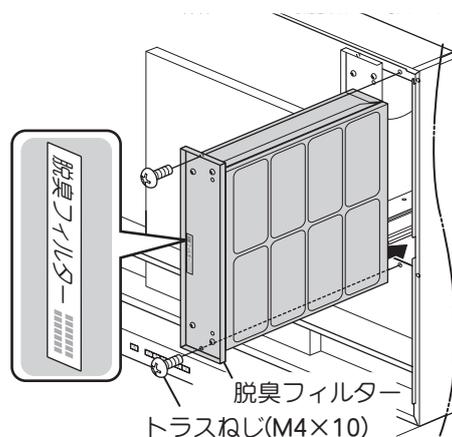


取り付けかた

- 2) 脱臭フィルター奥側のツメに当てるようにしてエアフィルターを重ねます。エアフィルターを重ねる際は、右図のように脱臭フィルターとエアフィルターとの間にすきまが空く面を下側にしてください。



- 3) 脱臭フィルターを脱煙・油吸着フィルターの横に差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



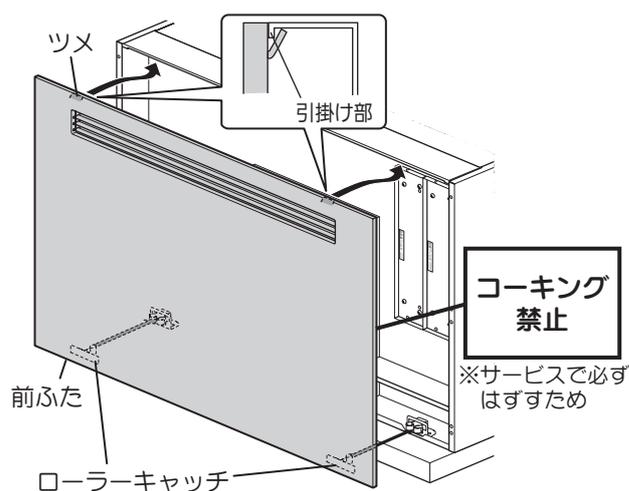
12. 前ふたの取り付け

前ふたを取り付けます。

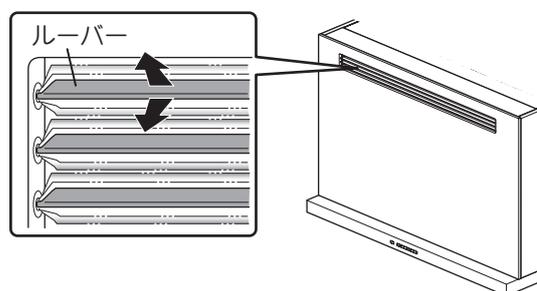
- 1) 前ふた上部のツメ2ヶ所を循環幕板本体に引っ掛け、下側を2ヶ所のローラーキャッチで固定します。

お願い

フィルター交換の際に前ふたを取りはずしますので、前ふたの外周はコーキングをしないでください。



- 2) ルーバーの向きを調節します。



取り付けかた

13. 誘導カートリッジ・整流板の取り付け

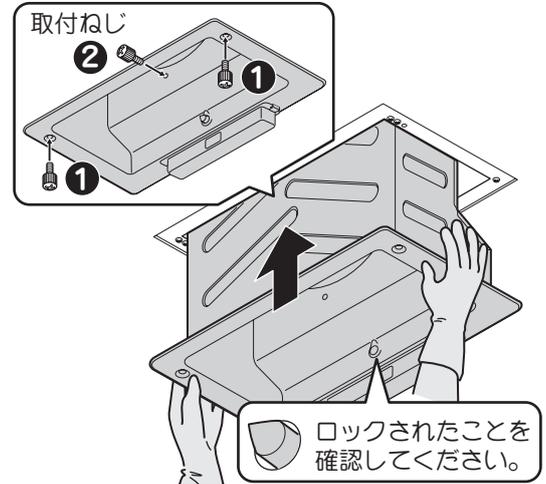
1 誘導カートリッジを取り付けます。

- 1) 誘導カートリッジを両手で持ち、開口部に差し入れます。内側奥にあるストッパーで固定されるまで、まっすぐにゆっくりと差し込みます。
※ 誘導カートリッジがストッパーで確実に固定されたことを確認してください。

- 2) 取付ねじを ②、① の順番で固定します。

お願い

誘導カートリッジはゆっくりと差し込んでください。
キズ・変形の原因になります。



2 整流板を取り付けます。

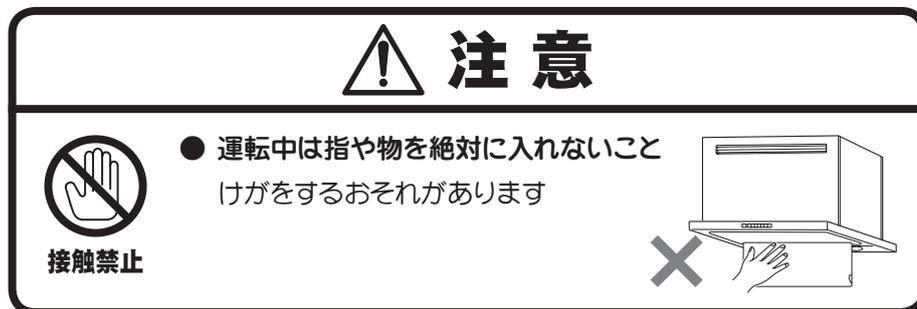
「3. 本体の準備」手順 1 (12 ページ) で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。
取り付け後は整流板を軽く上下に動かし、はずれないことを確認してください。

お願い

整流板の固定は確実にこなってください。
ロックが不十分ですと整流板の落下の原因になりますので、取り付け後、再確認してください。

取り付けかた

14. 試運転



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調が正しく運転されていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 「室外排気（換気）」モードで運転時、室外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

15. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

